

神奈川県には、外国にルーツをもつ人が多く生活しています。親世代は高齢期を迎え、子どもたちは介護をする世代になってきています。しかし、言語の壁や情報の不足から福祉サービスを利用できない高齢者も多いのが現状です。

この講座では、高齢期を迎えた外国にルーツをもつ県民を支援している方々から、高齢期の生活や支援の現状とそこから把握されている課題について報告いただき、共に地域で暮らす私たちに何ができるのか考えていきます。



参加費無料

テーマ 「高齢期を迎えた在日コリアン高齢者の生活と支援の現状」

講師 湯浅 利啓 さん

社会福祉法人青丘社 ほっとライン（居宅介護支援事業）
管理者・主任介護支援専門員（介護福祉士・社会福祉士）

在日コリアンの高齢者の在宅生活に関する自主学習サークルを経て、当事者とともに在宅福祉を支える居宅介護支援事業所と訪問介護事業所を開設し、今も在宅生活を支えています。現場から見える在日コリアン高齢者の生活と支援の現状についてお話しいただきます。

日時 8月21日（土）13:30～15:30

Zoomによるオンライン開催

【参加対象者】 テーマに関心のある方

【申込み】 参加希望の方は、右側のQRコードより申込みいただくか、または、①お名前、②ご所属、③連絡先のメールアドレス、④参加動機を下記メールアドレスあてに8月16日（月）までにお送りください。
8月18日（水）までに、Zoom ID、パスコードをお送りします。

定員40名（先着順）



主催：ユツカの会(多文化高齢社会ネットかながわ(TKNK))
(福)神奈川県社会福祉協議会

お問い合わせ：tknkyukka2021@gmail.com

ともしび基金協働モデル事業

☆やさしい日本語のせつめいです。くわしいことは前のページを見てください。

第1回

たぶんかこうれいしゃかい

多文化高齢社会ネット かながわ

けんみんこうざ

県民講座

かながわけん くに ひと す
神奈川県には いろいろな国の人たちが たくさん 住んでいます。

なが にほん す とし がいこく ひと おお
長いあいだ 日本に 住んでいて、年をとった 外国の人 も 多くなりました。

おや かいご 注¹ わか がいこく ひと
親などの介護^{注1} を している 若い 外国の人 も ふえています。

かながわけん がいこくじん こうれいしゃ 注² せいかつ しごと かつどう
神奈川県で 外国人の高齢者^{注2} の生活を たすける 仕事や 活動 を している

ひと はなし き いま もんだい し
人たちに 話を 聞きます。今 どんな問題があるかを 知って、

ちいき す わたし こうれいしゃ せいかつ よ ほうほう かんが
地域に 住む 私たち みんなで、高齢者の生活を 良くする方法を 考えます。



注1 かいご びょうき ひと とし ひと せわ
介護 = 病気の人や、年をとった人の 世話を すること

注2 こうれいしゃ とし ひと
高齢者 = 年をとった人のこと

にほん せいど いじょう ひと
日本の制度では 65 さい以上の人のこと



だい かい ざいにち こうれいしゃ せいかつ かつどう
第1回は：在日コリアン高齢者の 生活と たすける活動について

こうし ゆあさとしひろ せいきゅうしゃ
講師：湯浅利啓さん（青丘社 ほっとライン ケアマネージャー）

ねん かわさきし ざいにち なかま こうれいしゃ
2000年から 川崎市で 在日コリアンの 仲間といっしょに 高齢者が

じぶん いえ ほうほう がくしゅう
自分の家で くらす方法について 学習してきました。そのことを き

っかけに、 じぶん いえ ざいにち こうれいしゃ せいかつ
自分の家でくらす 在日コリアン高齢者の生活を たすけ

る仕事を つづけています。 高齢者との 仕事や 活動の 今のことを

はな
話してくれます。

にちじ かつ にち ど
日時：8月21日（土）13:30～15:30

ばしょ さんかひ えん ていいん にん
場所：Zoomで オンライン 参加費：0円 定員：40人

さんか ひと がいこくじんこうれいしゃ きょうみ ひと
参加できる人：外国人高齢者のことに 興味がある人

もうしこ がつ にち
申込み：8月16日までに tknkyukka2021@gmail.com へ

または 前のページの QR コードから

か 書くこと：①なまえ ②あなたの仕事、学校、グループなど ③メールアドレス

さんか りゆう
④参加したい理由

